

文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲「濟生三方」(1856年 C0126真田一郎家文書)

第8号目次

藤野巖九郎家文書特別展	2
文書館収蔵資料展示	3
歴史的の公文書紹介	4
古文書紹介	5
活動報告①	6
活動報告②	7
お知らせ	8

第8号

2006.10

福井県文書館

◆◆◆ 特集 ◆◆◆

藤野巖九郎家文書特別展 「藤野先生の手紙」

平成18年3月にあわら市から寄託をうけた藤野巖九郎家文書について、閲覧室で特別展を開催(4月29日～5月7日)しました。おかげさまで523名の方の御来館をいただきました。

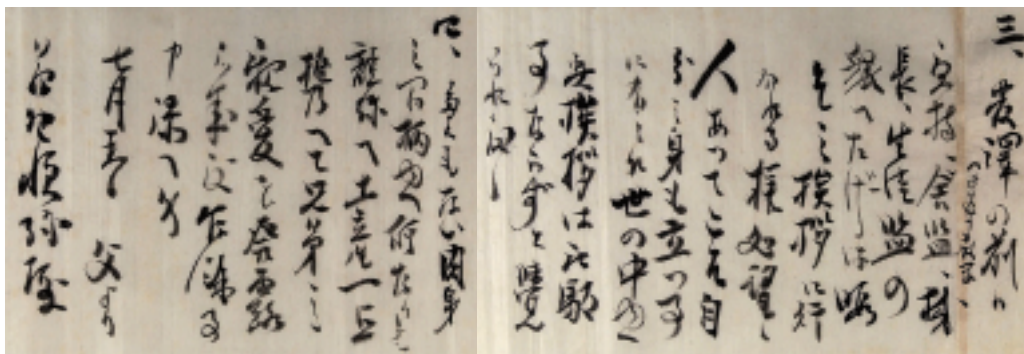
あわら市出身の医師藤野巖九郎は、仙台医学専門学校(現東北大学)で教授を務め、のちに中国の著名な文学者となる魯迅に解剖学を教えました。その際、藤野は自分の講義が筆記できるかと尋ね、講義ノートを提出させて朱筆で添削し、書き落とした部分だけでなく文法の誤りまで訂正したとい



ます。この添削は毎週行われ、藤野の全講義が終わるまで続けられました。魯迅は、このことに深く感銘し、藤野を終生の師と仰ぎ、小説「藤野先生」を執筆しています。

この特別展では、藤野巖九郎のもとに残されていた数点の手紙から、いくつかの人生の転機と福井ゆかりの人々や家族とのかかわりを紹介しました。また寄託をうけた104点の資料をカラー複製本にしました。

あわせて、北京魯迅博物館から県に寄贈された藤野巖九郎の添削した脈管学の講義ノートの複製本も展示しました。原本は「国家一級文物」(中国の国宝)に指定されています。



▲「帰省を前にした長男への書簡」

展示品リスト

(1) 現物展示資料(展示ケース)

- ・「金沢および仙台医学部教員欠員ニ付書簡」
C0125-00004 (1901年5月21日 小金井良精)
- ・「愛知医学校卒業証書」C0125-00024
- ・「教授昇進を祝う書簡」C0125-00007
(1904年7月10日 大沢岳太郎)
- ・「仙台医学専門学校教授任命辞令」C0125-00025
- ・「岩波文庫『魯迅選集』」(1935年6月)
- ・「魯迅選集の送付と編集の経緯を伝える書簡」
C0125-00032 (1937年1月7日 増田渉、佐藤春夫)

- ・「帰省を前にした長男への書簡」C0125-00080
(1935年7月5日 藤野巖九郎)
- ・「仏語単語篇(手製教科書)」
C0125-00089

(2) 複製本(A3)

寄託資料104点

- ・「仏語単語篇・昭和英語」
卷一(手製教科書)▶



文書館収蔵資料展示

(閲覧室での常設展示)

文書館では、福井県に関する歴史的な資料として重要な公文書、古文書などを保存しています。今年度は、1年を通してのミニ展示のほかに、収蔵資料の中から数点ずつ月1回展示替えを行って原本展示を始めました。

展示内容

5月9日(火)～28日(日)

漁場図3点、漁業原簿2点、
太閤検地帳2点、若越両国全図、
福井県の布令

6月1日(木)～30日(金)

芦原町大火に関する公文書
元禄期越前の幕府領大庄屋日記

7月1日(土)～18日(火)

「むしばまれる文書」として虫による
被害、湿気や水による被害を受けた
資料紹介

8月17日(木)～23日(水)

7月19日(水)～8月16日(水)

「福井に伝わる江戸末期の医学書」
西洋医学の普及に貢献した杉田玄白の孫杉田成卿と適塾で有名な緒
方洪庵の翻訳書と、福井藩医細井紫髯ゆかりの書物を紹介しました。

8月25日(金)～9月27日(水)

「福井の都市計画―戦前戦後のまちづくりと風致地区―」
風致地区指定の公告を決定する公文書、都市計画図、
福井市街変貌の様子を示す地図

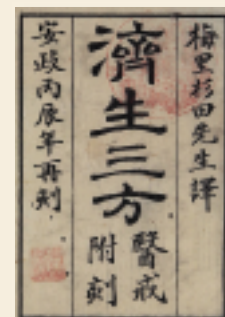


▲「元禄期越前の幕府領大庄屋日記」

Cover Photo Story

表紙写真：「濟生三方」(1856年(安政3) C0126 真田一郎家文書)

この資料は、杉田玄白の孫で、幕府の蕃書調所教授であった杉田成卿がベルリン大学内科教授C.W.フーフェランド(1762-1836)の著書の一部をオランダ語から翻訳したものです。当時、杉田成卿と緒方洪庵は、東西の二大家と仰がれた蘭方医でした。橋本左内や吉田拙藏らも杉田成卿のもとで学んでいました。「濟生三方」の「三方」とは、刺絡(静脈を刺して悪血を流し去ること)、阿片、吐薬を指し、フーフェランドはその臨床経験からこれらを推奨していました。西洋医学の普及に貢献した翻訳書の一つです。p5の寄贈・寄託資料紹介にも関連記事があります。



◆◆ 歴史的公文書紹介 ◆◆

福井県の風致地区

「自昭和3年至昭和15年庶務雑件(都市計画福井地方委員会)」329 経済部土木課 1928～43年

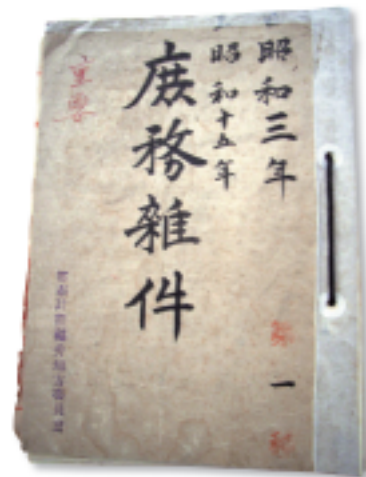
風致地区とは、都市における良好な自然的景観と、それと一体になった史蹟名勝などを含む区域の環境を保全し、良好な都市環境を維持することを目的として都市計画で定める地区です。県内では、福井市の福井城址風致地区、足羽山風致地区、足羽川風致地区の3地区が1938年(昭和13)に指定を受けました。風致地区内では、建築行為、土地形質の変更、竹木の伐採などが県や市町村の条例で規制されますが、福井県も福井県風致地区条例によってこれら3地区の環境を守っています。

風致地区が指定された1938年(昭和13)の公文書には、風致地区指定について都市計画福井地方委員会で諮った際の資料(「福井都市計画風致地区議案並ニ参考資料」)が残されています。資料には、内務大臣からの文書の写しや指定地区の位置、指定理由、3地域の沿革などがまとめられています。

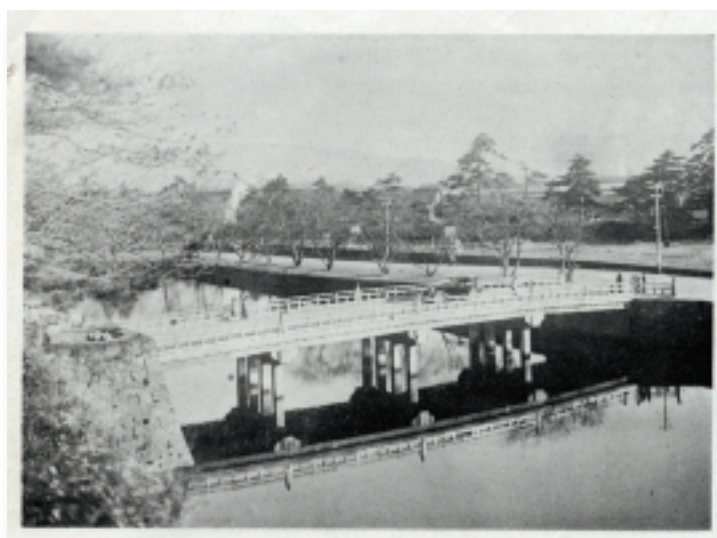
沿革の部分には、当時の写真11枚とともに、それぞれの地区の当時までの歴史や言い伝えが記述されています。福井城址では、朝倉頼景の居城から始まり、柴田勝家や秀吉、結城秀康以降の藩主、そして大正時代の県庁移転までが累々と記載されているほか、足羽山では継体天皇の伝説にも触れており、今読んでも興味深いものです。また、御本城橋や御廊下橋、足羽川の桜並木も当時の姿を白黒写真で見ることができます。

戦後、福井城址の堀と石垣はそれまでの所有者松平家から民間の手に渡り、堀の一部埋め立ての話が持ち上がりました。しかし、署名運動や新聞各紙の報道などで埋め立て反対の世論が高まり、申請は取り下げられることになりました。

以来、風致地区は住民と行政によって守られ、今でも県民の憩いの場となっています。



▲「福井都市計画風致地区議案並ニ参考資料」329-22添付



▲当時の御本城橋

都市計画福井地方委員会の資料は、拡大した複製資料を閲覧室に用意しております。ぜひ手にとってご覧ください。

◆◆ 古文書紹介 ◆◆

寄贈資料紹介

■鈴木伝之助家文書(J0129)

鈴木伝之助(1843-1919)は、勝山藩士鈴木定八の長男として生まれました。叔父である藩の剣術師範鈴木定七に剣術を学び、藩の剣術教授などとして活躍しましたが、廃藩後は吉田郡松岡町に転居し、水車業を営むなどしました。同家に伝わった資料で、なかでも「公政館日誌」(写真)には、明治維新に伴う勝山藩の機構改革についての詳細が記されています。

▼「公政館日誌」(1868年 慶応4)



寄託資料紹介



▲「納宗光名分之事(宗光名年貢公事請取状)」(1541年 天文11)

■飯田広助家文書(G0024)

当家はその家譜によると、その祖が応永(1394-1428)頃鞍谷御所足利嗣俊に従って越前に下り東俣村に居住し、ついで女に朝倉氏一族から婿を取り、名跡を継がせたと伝えられています。近世には代々村役人を務め、1828年(文政11)以降鯖江藩の大庄屋となり、その後、1874年(明治7)副戸長、1907年(明治40)-18年(大正7)上池田町長を務めています。寄託資料は5507点(整理済分)で、1525年(大永5)以降、中世文書、東俣村の村方文書、鯖江藩大庄屋文書、戸長役場文書、各時代にわたる飯田家の私家文書に大別されます。文書は大量で、継続して整理を進めています。

■真田一郎家文書(C0126)

真田一郎氏の父清一郎氏は、戦前に三国町立三国病院長を務め、その後町内で医院を開業しました。寄託資料は真田清一郎氏が収集した江戸時代の医学書17点64冊で、その中には、江戸末期の蘭方医緒方洪庵の「扶氏経験遺訓」(1857年 安政4)、杉田玄白の孫杉田成卿の「濟生三方」(表紙、p3参照)など、西洋医学の普及に大きく貢献したとされる興味深い資料や福井藩医細井紫髯の「四診備要」(1847年 弘化4)といった診断学の入門書、本草学の書物が含まれています。

■藤野巖九郎家文書(C0125)

あわら市藤野巖九郎記念館で展示されていた文書資料104点が、2006年3月にあわら市から寄託されました。その中には、藤野巖九郎の卒業証書、辞令類、履歴書、診察簿、備忘録(耳鼻科ノート)、藤野診療所調査表、書簡類、藤野巖九郎が息子たちのために作成したと思われるフランス語や英語の手製教科書、西洋医学書の筆写本などが含まれています。(p2に関連記事があります。)

新たに公開した古文書紹介!

前号紹介後に新たに公開、あるいは近日中に公開できる古文書(目録、複製本)は次の通りです。

- | | | |
|---------------------|---------------------|----------------------|
| ●A0041竹澤信剛家文書 福井市 | ●A0128斎門六右衛門家文書 福井市 | ●C0095上坂伊右衛門家文書 あわら市 |
| ●A0054川合鷺塚区有文書 福井市 | ●A0166稲田弘毅家文書 福井市 | ●C0098細川治右衛門家文書 あわら市 |
| ●A0055林又左衛門家文書 福井市 | ●A0519柳沢速雄家文書 福井市 | ●C0124古谷九兵衛家文書 坂井市 |
| ●A0056鈴木公宏家文書 福井市 | ●B0016市荒川区有文書 永平寺町 | ●C0125藤野巖九郎家文書 あわら市 |
| ●A0058竹内善四郎家文書 福井市 | ●B0017善教寺文書 永平寺町 | ●C0126真田一郎家文書 坂井市 |
| ●A0064中野本山専照寺文書 福井市 | ●B0018田原迪家文書 永平寺町 | ●G0024飯田広助家文書 追加 池田町 |
| ●A0071後藤与五郎文書 福井市 | ●B0019山田謙一家文書 永平寺町 | ●J0127滝本嘉博家文書 勝山市 |
| ●A0085名津井萬家文書 福井市 | ●B0020多田志衛門家文書 永平寺町 | ●J0129鈴木伝之助家文書 勝山市 |
| ●A0108坪川健一家文書 福井市 | ●C0007高倉三郎四郎家文書 坂井市 | ●X0143佐々木曠家文書 東京都 |

◆◆活動報告①◆◆

古文書入門講座

- ①開催日：平成18年5月27日(土)、6月3日(土)
開催時間：13:30～15:30
講師：文書館職員 参加者：62名
②開催日：平成18年8月19日(土)、8月26日(土)
開催時間：13:30～15:30
講師：文書館職員 参加者：60名

今年度も、古文書入門講座を初めて古文書にふれる方にしほり、少し経験がある方対象としては、昨年同様初級講座を開講しました。入門講座は人気が高く、定員をはるかに超える申込みがあり、8月にも開講しました。受講者は変体仮名や数字、人名など古文書の基本を学びました。



古文書初級講座

- 開催日：平成18年6月17日(土)、6月24日(土)
開催時間：13:30～15:30
講師：文書館職員 参加者：63名

初級講座は2回連続で「続白山紀行」を読みました。今年、閲覧室でカラー複製本展示している資料でもあり、受講者は白山禅定道をわくわくしながら読み進めていきました。

古文書読解グループ

- 開催日：毎月第4金曜日
開催時間：13:30～15:30
講師：文書館職員
参加者：毎月約15名

今回は新たな試みとして、「組下諸事御用留(加藤与次兵衛家文書)」の資料を用意し、参加者による輪読をしています。毎回、参加者の方は大変熱心で、一つの資料にみんなで真剣に取り組み、読みあっています。



古文書相談 「よみます！古文書」

- 開催日：平成18年8月22日(火)
開催時間：13:30～15:30
助言者：真柄甚松氏、山本孝衛氏、吉田叡氏
(文書館資料調査員)
参加者：6名
会場：鯖江市資料館

昨年度から始めた活動です。今年は会場を鯖江市資料館に移して開催しました。参加者は持参された文書を示しながら、どのような内容の古文書なのか、保存はどうしたらよいか、読めない字を教えてほしいなど、短い時間ながらも熱心に質問されていました。



資料保存研修会 「災害による被害を抑える 日常の資料保存」

- 開催日：平成18年7月6日(木)
開催時間：13:30～15:30
講師：金山正子氏
(元興寺文化財研究所主任研究員)
参加者：33名

災害に備える日常の資料管理のあり方と災害発生後の迅速な対応の仕方について学びました。過去の災害などで実施した事例などを示しながら、分かりやすく説明していただきました。



平成18年度後期にもさまざまな行事を開催いたします。後期の講演・講座につきましてはp8に紹介してあります。皆さまの受講をお待ちしております。

◆◆活動報告②◆◆

「古文書に親しもう～子ども編～」

福井県文書館では、より多くの県民の皆さまに利用していただくよう様々な取り組みを行っています。ここでは、若い世代に古文書に親しんでもらうために実施してきた活動を紹介いたします。

①出張授業

7月14日に福井市内の高校にて、3年生の日本史の授業を選択している生徒を対象に出張授業を行いました。ちょうど授業で江戸時代の終わりまで学んでいたため、授業の進み具合に合わせて近世の古文書を中心に紹介しました。原文書を初めて見る生徒がほとんどで、朝倉義景や柴田勝家の書状、太閤検地帳、寺請証文など教科書に出てくる実際の郷土の資料にふれ、歴史を身近に感じていたようです。



▲出張授業の様子

生徒の感想より

- 古文書は資料集でしか見たことがなかったのでピンとこなかったが、本物を見て実感がわいた。何百年前の物が残っているなんて本当にすごい。将来の進路について迷っていたが、歴史関係に進みたいという意欲が湧き出てきました。
- 今私たちが住んでいるふるさと福井にも古い文書が残っているんだなと思った。郷土の歴史に興味を持った。
- 1枚1枚古文書をスクリーンに写して説明してくれたので、いろいろなことがわかりよかった。
- 今日日本史の授業で習っている歴史的事実に生々しいリアリティーを感じた。
- 今回の授業のように、実際実物を見るのはとても印象に残るし、説得力もあるので、すごくよかった。
- 今まで学校の授業で習った事をさらに深く学習する事ができ、さらに歴史に興味をわいた。

②文書館新聞

「郷土新聞」の作成や自由研究などの夏休みの宿題にぜひ当館を利用して資料を活用していただきたいという思いから、夏休み前に、中学生向けに「文書館新聞」を発行しました。今まで閲覧室の利用は大部分が大学生以上でしたが、夏休み中、資料を調べる中学生の姿が閲覧室内で見られました。



▲資料目録を検索している中学生



福井県文書館では地域の生きた教材として、資料(公文書・古文書など)を学校教育現場に提供していきたいと考えています。出張授業や教材について気軽にお問い合わせください。

お知らせ

講座・講演会のご案内

■県史講座

平成 19年2月10日(土) 13:30～15:30

「ふくいの鉄道125年のあゆみ」

講師：田中完一氏（元県立藤島高等学校長）

平成19年2月24日(土) 13:30～15:30

「ふくいの産業革命を担う－軽便鉄道の敷設」

講師：小谷正典氏（県立丸岡高等学校長）

会場：図書館多目的ホール

■講演会

平成19年2月3日(土) 13:30～15:00

「戦前期の日満交通路と福井県

－「日本海湖水化」の時代」

講師：白木沢旭児氏（北海道大学教授）

会場：図書館多目的ホール

県史講座、講演会は申込不要です。

「コシヒカリ育成記録展」 資料展示のご案内

平成18年10月27日(金)～11月23日(木)

会場：文書館閲覧室

今年はコシヒカリが誕生してからちょうど50周年にあたります。そこで、県農業試験場のイベントにあわせて資料展示を行います。ぜひご来館ください。



▲コシヒカリの育成者 石墨慶一郎氏（1959年 昭和34）

文書館だより Fukui Prefectural Archives 第8号

平成18年10月25日発行

編集・発行／福井県文書館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>

電子メールアドレス bunshokan@pref.fukui.lg.jp

ご利用案内

■開館時間

午前9時から午後5時まで

■休館日

月曜日（休日は除く）

国民の祝日の翌日（土、日、祝日は除く）

文書等点検期間（年間10日以内）

年末年始（12月28日～1月4日）

清掃整理日（12月以外の第4木曜日、祝日の場合は翌日）



フレンドリーバス(無料)のご案内

運行日：毎週月曜日、年末年始（12.28～1.4）を除く毎日のりば：市内バス5番のりば

経路：福井駅前～福井駅東口～高志高校前～羽水高校前～生活学習館～市美術館～県立図書館（県文書館）（高志高校、羽水高校では、行きは乗車のみ、帰りは降車のみ可能です。）

運行時間：平日8:30～19:00 土日祝8:30～18:00

運行間隔：30分間隔

（5番のりば、県立図書館ともに毎時00分、30分発）

使用車両：1両は車椅子用手動リフト付きで、

1両はノンステップバスです。

編集後記

たより第8号をお届けします。今号では、より多くの皆さまに文書館を利用していただくための展示その他の取り組みについて特集しました。今後も親しみを持っていただくためにさまざまな取り組みを行っていきます。

